國學院大學学術情報リポジトリ

スタッフ紹介

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001572

スタッフ紹介

※氏名、現職、専門分野、担当研究事業、および2023年度の研究業績について紹介します。今年度新任のスタッフに関しては、研究紹介および2022年度以前の研究についても掲載します。また、掲載順は現職・五十音順に従うものとします。なお、発表・講演等をオンライン形式にて行った場合は、そのWeb会議サービスの媒体を問わず「オンライン開催」と表記しています。

平藤喜久子　所長・教授　神話学・宗教学

[単行本]

・（共編）平藤喜久子・港千尋『〈聖なるもの〉を撮る―宗教学者と写真家による共創と対話』山川出版社、2023年８月。

[論文]

・「戦間期の神々―「多神教」の諸相―」『宗教研究』97巻２輯、251-274頁、2023年９月。

・「日本神話はどう読まれたか――一九世紀の神話学と翻訳を中心に―」『國學院雑誌』第124巻10号、2023年10月、１-18頁。

・「奇人と奇縁の神話研究―レオン・ド・ロニと平田篤胤―」『現代思想』12月臨時増刊号、51巻16号、2023年12月、306-315頁。

[その他]

・（企画編集）『現代宗教2024　特集　試される宗教リテラシー』、国際宗教研究所、2024年１月。

・（研究発表）“Shinto to rule Asia: Japanese mythologists of the imperial period,” in panel, “Shinto readings of the Other during the interwar period,” European Association for Japanese Studies, 2023.8.20.

・（招待講演）“Kojiki Myth and the Jomon Period,” in Symposium “Japan’s Imperial Mythology De/Sacralization in the Context of Exegesis, Politics and Folklore,” at Tübingen University, 2023.11.23-25.

・（講演）「神話と神道文化」大阪院友会、2023年６月10日。

・（講演）「日本人と神―その不思議な関係をどう語るか―」院友神職会大阪支部、2023年10月17日。

・（講演）「国作り神話が伝えること」出雲大社教神道婦人会第三八回本部研修会・第三九回大会、2023年11月８日。

・（講演）「出雲神話を風景から考える」出雲神話フォーラム「写真から読む出雲神話」、島根県立美術館、2024年３月16日。

星野靖二　教授　近代日本宗教史

[口頭発表]

・“Negotiations in settling down ‘religion’: Revisiting the attempts of Japanese intellectuals in the latter half of the nineteenth century” in the panel “Transnational exchange and the category ‘religion’ ” convened by Aike Rots and Emily Simpson, at the at the 17th International Conference of the European Association for Japanese Studies (EAJS), held at Ghent, Belgium, 2023.8.18.

・「明治中期の「世界の諸宗教」像―『日本之教学』から考える―」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学、2023年９月９日。

・「高橋五郎の思想の”一貫性”について」（「近代日本宗教思想史のなかの高橋五郎」パネル（代表者：オリオン・クラウタウ）における発表）日本思想史学会2023年度大会、於東北大学、2023年11月12日。

[その他]

・（項目執筆）『岩波仏教辞典第三版』岩波書店、2023年11月。

・（パネリスト）: “Panel Discussion: On the Study of Japanese Religions” in “The Study of Japanese Religions Past, Present and Future: Fifty Years of the Japanese Journal of Religious Studies,” held at Nanzan Institute for Religion and Culture, 2023.6.9.
・（モデレーター）: “Luther goes East: Reformation Narratives in Modern China and Japan” organized by Orion KLAUTAU, in the Fifth Tohoku Conference on Global Japanese Studies, 2023.12.9.

飯倉義之　教授　口承文芸学、現代民俗学

[単行本]

・『決定版日本の大妖怪』小松和彦・飯倉義之［監修］、宝島社、2023年11月。

[論文]

・「オカルトを買っておうちに帰ろう：「コンビニオカルト本」の私的観察史」『近代出版研究』２号、近代出版研究所、2023年４月、73-78頁。
・「柳田國男と／民俗学と写真―方法論の不在について―」港千尋・平藤喜久子編『〈聖なるもの〉を撮る宗教学者と写真家による共創と対話』山川出版社、2023年８月、166-177頁。

[口頭発表]

・「説話／民話／怪談一話を集めるといういとなみに注目して」説話・伝承学会2023年度冬季大会、オンラインシンポジウム、2023年12月16日。
・「朝日カルチャー講座　龍（竜）とは何か―辰年を前にして」、朝日カルチャーセンター千葉、2023年12月２日。
・「関東大震災を語り継ぐ―関東大震災から100年」渋谷民話の会口演会、2023年10月８日、温故学会・渋谷民話の会。
・「妖怪文化の歴史をたどる　上代から近世まで」横須賀市市民大学講座「日本妖怪史　民俗学と芸能史から考える」横須賀市生涯学習財団、2023年10月20日。
・「渋谷を語る民話――口承文芸から見る渋谷」令和５年度オンライン公開講座「渋谷を科学する――渋谷学」國學院大學エクステンションセンターオンライン講座、2023年10月２日。
・「怪異怪談研究会の《最前線》とはどこだったのか」（怪異怪談研究会創立10周年記念公開シンポジウム　怪異怪談研究の最前線から）、有限会社荒蝦夷・怪異怪談研究会、仙台フォーラスBASE sendai パーク、2023年８月27日。
・「夏休みスペシャルプログラム！都市伝説のふしぎに迫れ！」Honda ASOBI BASE、本田技研工業株式会社、オンライン講演、2023年７月22日。

[その他]

・（書評）「【話題の本、気になる本。】揺らぐ現実と虚構の間に誕生した怪談漫画」『クロワッサン』1108号、マガジンハウス、2023年12月、83頁。
・（書評）「怪異怪談研究会監修、一柳廣孝・大道晴香編著『怪異と遊ぶ』」『宗教研究』97、日本宗教学会、2023年６月、145-150頁。
・（コラム）「かっぱよもやま話　十皿目　河童vsスーパーヒーロー」『かっぱ新聞』236号、河童連邦共和国、2023年９月、５頁。
・（コラム）「都市伝説のウラ側教えます」『本当にあった笑える話』2023年６月号～９月号、ぶんか社、2023年４月～７月、
・（対談）「お茶の時間　208「妖怪」２・常光徹」『クロワッサン』№1100、マガジンハウス、2023年９月。
・（対談）「お茶の時間　207「妖怪」１・近藤ようこ」『クロワッサン』№1099、マガジンハウス、2023年８月
・（出演）『ダークサイドミステリー』「怖いウワサの新時代“ネット怪談”誕生秘話 ～杉沢村伝説・くねくね・きさらぎ駅～」NHKBSプレミアム、2023年９月14日。

・（出演）『＜BSフジサンデープライム＞民話発見伝～隠れた名作を訪ねて～』BSフジ、2023年７月30日。
・（出演）配信番組「テレビノーク」＃８ スペシャル「３月11日、どう過ごしてますか？」＜part５／スタジオゲスト編＞、一般社団法人NOOK、2023年３月11日。
・（コメント）「【知って楽しい！おもしろ雑学】夏といえば怖い話……はなぜ？」『週刊女性』2023-９-５、主婦と生活社、2023年８月
・（コメント）「ようかいってほんとうにいるの？」『朝日小学生新聞特別号　朝小はじめてのしんぶん』、朝日小学生新聞社、2023年７月。
・（コメント）「JAPANISM LEARNING from Past」vol.2「鬼に託したもの」『ザ・ヨギス・マガジン』vol.2、Lotus８、2023年６月。
・（コメント）「ルポ　怪異が生まれる場所」『ダ・ヴィンチ』６月号。KADOKAWA、2023年６月。
・（監修）「全国ようかいアンケート」『進研ゼミ小学講座　チャレンジ４年生　わくわく発見BOOK』６月号、ベネッセコーポレーション、2023年６月。

遠藤潤　教授　宗教学、日本宗教史（近世・近代）

黒﨑浩行　教授　宗教社会学、現代社会と地域神社

[その他]

・（分担執筆）「第15章　被災者は宗教に何を求めるか? ―「心のケア」、臨床宗教師、霊性」大谷栄一・川又俊則・猪瀬優理編『基礎ゼミ　宗教学〔第２版〕』世界思想社、2024年４月、131-138頁。

松本久史　教授　近世・近代の国学・神道史

エリック・シッケタンツ（SCHICKETANZ, Erik）

准教授　近代日本の宗教、近代中国の宗教、宗教と政治

吉永博彰　助教　神道史、神社史、神社有職故実

[論文]

・「近世の流山村鎮守･赤城大明神の様相―「赤城大明神正一位受贈関係資料」の調査報告に寄せて―」『流山市史研究』第25号、流山市立博物館、2024年３月、１-26頁。

[その他]

・（企画・編集・執筆）『祭具―神社の祭祀を読み解く―』國學院大學学術資料センター（神道資料館部門）編、2024年２月、２・６-９・11-17頁。
・（講師）「お祓いの祭具と儀式の場」、JVCampus「お祓いと神道」（分野：人文・社会科学／國學院大學）#JVC55EB３M６FZ、2023年12月７日オンデマンド配信。
・（解説）［特別展「三嶋の神のモノガタリ―焼き出された伊豆の島々―」を展示解説！］、國學院大學博物館 Online Museum、國學院大學博物館、2023年10月14日配信。
・（編集・執筆）特別展「三嶋の神のモノガタリ―焼き出された伊豆の島々―」章解説・資料解説・論考ほか、図録『三嶋の神のモノガタリ―焼き出された伊豆の島々―』國學院大學博物館、2023年９月。
・（講師）「日本の夏に出会う」展ワークショップ「狩衣を着る！」７月７日・７月８日、同「御幣づくり体験」７月８日、於東急プラザ渋谷。
・（解説）ニコニコ美術館 企画展「祓―儀礼と思想―」（國學院大學博物館）を巡ろう、ニコニコ美術館、2023年６月13日配信。
・（執筆）企画展「祓 儀礼と思想」資料解説･コラム、國學院大學博物館 企画展図録『祓－儀礼と思想－』國學院大學博物館、2023年５月。

川嶋麗華　助教　民俗学

[単行本]

・（分担執筆）「折口信夫と写真―「実感」を記録し、伝える」『〈聖なるもの〉を撮る 宗教学者と写真家による共創と対話』山川出版社、2023年８月。

[口頭発表]

・「火葬の場における儀礼の形成と普遍化」第２回日本文化研究所研究会、オンライン開催、2023年７月３日。

・「「伝統的」な葬儀への職能者の関わりについての考察―愛知県西部における火葬の担い手とその変遷」日本民俗学会第75回年会、於成城大学、2023年10月22日。

[その他]

・（パネル）「空也堂の踊躍念仏・六斎念仏」京都の祭り行事展、2023年12月１日―2024年１月18日、於京都府立京都学・歴彩館１階京都学ラウンジ。

髙田彩　客員研究員　宗教社会学

[論文]

・「聖地運営の担い手と参詣者の関係性―昭和戦後期における武州御嶽山を事例として―」『國學院大學研究開発推進機構紀要』第16号、2024年３月、47-86頁。

[口頭発表]

・「宿坊活用の変遷―新聞記事を中心に―」第３回日本文化研究所研究会、オンライン開催、2023年９月13日。

大場あや　PD 研究員　宗教社会学

[論文]

・「「無縁社会」論の諸相と展望―孤独死と葬制をめぐって―」『駒澤大学 文化』42号、2024年３月、104-77頁。

[口頭発表]

・「都市化と葬制」（テーマセッション「『無縁社会の葬儀と墓』を解剖して再起動する―研究領域「慰霊・葬祭」の縁を新たに紡ぐ試み―」第１報告）「宗教と社会」学会第31回学術大会、於愛知学院大学名城公園キャンパス、2023年６月25日。

・「中国江西省における殯葬改革の展開―メディア言説を中心に―」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学府中キャンパス、2023年９月10日。

・「森岡清美『真宗教団と「家」制度』の成果と課題―血のみち・与力結合・重層的寺檀関係―」（テーマセッション「森岡清美の宗教社会学を捉え直す」第２報告）第96回日本社会学会大会、於立正大学品川キャンパス、2023年10月９日。

・“Why Study Religion” in the JARS Young Members Roundtable Session, IAHR Special Conference, “Can the IAHR be engaged and relevant without being political or confessional? The position of ‘science（Wissenschaft）’ in 2023,” The University of Tokyo, 2023.12.17.

・（講演）「葬儀と墓の変化からみる現代日本の死生観―イギリス・スウェーデンとの比較から―」高野山真言宗広島青年教師会研修会、於高野山福山別院、2024年２月19日。

・「「無縁社会」とは何だったか―その射程と展望―」国立歴史民俗博物館基幹研究 令和５年度共同研究「高齢多死社会における生前から死後の移行に関する統合的研究」第３回研究会、於大野屋多磨店、2024年２月25日。

・（講演）「葬送儀礼の変容とこれから」真言宗智山派 智山教化センター「教化を考える会」、於智積院別院真福寺、2024年２月26日。

・“What Was Muen Shakai?: Its Aspects and Academic Perspectives,” JARS Young Members Workshop, Toyo Eiwa University, 2024.3.25.

[その他]

・「鹿児島県における冠婚葬祭の「作法書」と墓参の規範化」『一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団 冠婚葬祭総合研究所論文集』令和４年度、2023年５月、38-43頁。

木村悠之介　PD研究員　近代日本宗教史・神道史

[単行本]

・（分担執筆）第一章「無宗教だと文明化に影響？ 幕末～明治期」、第四章「実は無宗教ではない？ 一九六〇～七〇年代」『日本人無宗教説 その歴史から見えるもの』筑摩選書、2023年５月、19-57、131-167頁。

[口頭発表]

・「余白のメディア宗教としての「大黒天主義」――不正通信販売と国体論のあいだ」メディア史研究会、於神奈川大学、2023年７月29日。

・「近代における神前結婚式の四分法と相互関係」神道宗教学会、オンライン開催、2023年12月３日。

・「近代神道における「誓」と「改革」――久米邦武・教派神道・神前結婚式」ワークショップ「近現代日本における改革と革命の宗教思想」、於東北大学、2024年２月２日。

[その他]

・（研究ノート、共著）木村悠之介・荻原稔「大成教禊教『禊協会雑誌』解題・目次補遺」『國學院大學研究開発推進機構　日本文化研究所年報』第16号、2023年９月、75-83頁。

武井謙悟　PD研究員　宗教人類学、近代仏教

[論文]

・「儀礼とメディア」大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編『増補改訂 近代仏教スタディーズ―仏教からみたもうひとつの近代―』法藏館、2023年４月、174-177頁。

・「近代仏教の「儀礼」をいかに再現するか」『近代仏教』30号、2023年５月、59-70頁。

・「近代日本における神前結婚式の再検討―仏前結婚式との比較を中心として―」『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』16号、2023年９月、18-33頁。

・「メディアによる行の宗教の形成―仏教系雑誌に見られる身体実践―」『駒澤大学仏教学部論集』54号、2023年10月、223-244頁。

[口頭発表]

・「近代における曹洞宗と観音―思想・実践・物質―」第31回「宗教と社会」学会学術大会、於愛知学院大学、2023年６月25日。

・「近代曹洞宗におけるメディア利用の変遷」第82回日本宗教学会学術大会、於東京外国語大学、2023年９月10日。

・「昭和初期における仏教の儀礼空間―大雄山最乗寺帝都巡錫（昭和５年）を中心に―」2023年度第５回日本文化研究所研究会「近代日本における儀礼空間の形成過程―昭和初期東京における天皇儀礼と仏教儀礼の比較を通じて―」（共同発表者：長谷川香、コメント：大道晴香）、於國學院大學＋オンライン開催、2024年３月12日。

・（講師）「現代布教の在り方を考える―近代布教の観点から―」曹洞宗関東管区教化センター令和５年度教化指導員研修会、於東京グランドホテル、2023年６月23日。

[その他]

・（発表要旨）「近代曹洞宗におけるメディア利用の変遷」『宗教研究』97巻別冊、2024年３月、220-221頁。

藤井修平　PD研究員　宗教学

[単行本]

・（分担執筆）「宗教と科学―両者は対立するか、調和するか」伊原木大祐、竹内綱史、古荘匡義編『3STEP シリーズ4 宗教学』昭和堂、2023年4月、225-239頁。

・（分担執筆）「宗教認知科学と宗教心理学」松島公望、大橋明、川島大輔編著『宗教が拓く心理学の新たな世界―なぜ宗教・スピリチュアリティが必要なのか』福村出版、2023年5月、43-50頁。

[口頭発表]

・「宗教の科学的研究の展開と背景―『科学で宗教が解明できるか』から―」第1回日本文化研究所研究会、オンライン開催、2023年6月28日。

・「宗教概念批判を捉え直す」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学、2023年9月9日。

[その他]

・（共同執筆）藤井修平・牧田小有玲「宗教界の性的少数者への否定・反発と、それに対する宗教内部からの批判」『ラーク便り』98号、2023年5月、32-35頁。

・（翻訳）ヘレン・ハーデカー著、藤井修平訳「井上順孝著『神道の近代―変貌し拡がりゆく神々』」『宗教と社会』29号、2023年6月、158-160頁。

・（YouTube出演）「尼崎えびす神社で男性カップルの神前結婚式～LGBTと日本の宗教界～「宗教ニュースを読み解く」No. 23」RIRCチャンネル（宗教情報リサーチセンター）、2023年7月。

・（書評）藤井修平「宗教を通して理解する人間の脳と心（アンドリュー・ニューバーグ『神経神学』）」『図書新聞』3605号、2023年9月、3頁。

長見菜子　研究補助員　上代文学、伝承文字

[論文]

・「穴穂部・穴太部考 ――〈穴〉字を冠する部民の検討――」『國學院大學研究開発推進機構 日本文化研究所年報』第16号、2023年9月、34-50頁。

・「『古事記』「軽太子物語」における注文の寓意性 ――金属表記が示す意味――」『学習院大学人文科学論集』32号、2023年10月、103-135頁。

・「穴師の原義に関する一考察」『学習院大学国語国文学会誌』67号、2024年3月、21-37頁。

[口頭発表]

・「『古事記』歌謡の表現法―允恭記歌謡における「弓」の表現をめぐって―」学習院大学国語国文学会秋季大会、於学習院大学、2023年11月11日。

鳴海あかり　研究補助員　民俗学

[論文]

・「人形供養の形成と発展について」『國學院大學大學院紀要－文学研究科－』第55輯、國學院大學大學院、2024年2月、101-124頁。

・「いわゆる「丑の刻参り」の完成 ―妬婦・藁人形・呪釘―」『國學院雑誌』第125巻第3号、國學院大學、2024年3月、43-62頁。

[口頭発表]

・「90年代における人形の怪談についての一考察 ―メリーさん・リカちゃんの怪を中心に―」異類の会、オンライン開催、2023年6月25日。

[その他]

・（イベント）「怪異・怪談の研究について語る（民俗学）」於学問バーKisi、2023年4月6日。

・（イベント）「怪異・怪談の研究について語る（民俗学）第二回」於学問バーKisi、2023年5月10日。

・（イベント）「「予言獣」を考える―アマビエ・クダン・ヨゲンノトリなど」於学問バーKisi、2023年7

月19日。
・（イベント）「伝統が「作られる」？：フォークロリズムについて語る」於学問バーKisi、2023年10月８日。
・（イベント）「人形の怪異・怪談の民俗学徒と気軽におしゃべりするバー」於学問バーKisi、2024年１月31日。

牧田小有玲　研究補助員　宗教人類学

[口頭発表]

・「モラリティを通して見る現代神社神道における女性神職の主体について」第942回東京都立大学社会人類学研究会、於東京都立大学、2023年11月17日。
・“Suffering and Conflicts of Women Priests in Jinja Shinto（Panel 15: It’s Hard to Be a Woman.）” Anthropology of Japan in Japan（AJJ）, Meiji Gakuin University Shirokane Campus, 2023.12.3.
・「女性神職のジェンダー規範はいかに交渉されているか？」第６回日本文化研究所研究会、オンライン開催、2024年３月29日。

[その他]

・（コラム）「「制服」ではない？ 聖職者が身にまとうもの」ZOZO NEXT FashionTech、2023年４月。
・「宗教リテラシー向上委員会 神道社会における性的マイノリティを考える --神政連LGBT差別冊子配布問題をめぐって」『キリスト新聞』3636号、2023年４月11日、４頁。
・（共同執筆）藤井修平・牧田小有玲「宗教界の性的少数者への否定・反発と、それに対する宗教内部からの批判」『ラーク便り』98号、2023年５月31日、32-35頁。
・（YouTube出演）「尼崎えびす神社で男性カップルの神前結婚式～LGBTと日本の宗教界～「宗教ニュースを読み解く」No. 23」2023年７月。
・（受賞）Highly Commended In the Inaugural HARUMI BEFU PRIZE, Anthropology of Japan in Japan（AJJ）, 2023.12.3.

井上順孝　客員教授　宗教社会学、認知宗教学

[論文]

・「カルト問題への認知宗教学的視点―感情システムと認知システムの相互作用からみる―」『ラーク便り―日本と世界の宗教ニュースを読み解く』第99号、2023年８月、66-84頁。
・「宗教文化教育の現状と課題」（氣多雅子・島薗進・金澤豊・小林敬編『宗教を問う、宗教は問う―コルモスの歴史と現代』法蔵館、2023年12月、141-159頁。
・「宗教文化教育が目指す宗教リテラシー」『現代宗教2024』国際宗教研究所、2024年１月、49-69頁。
・「文化的ニッチ論から見る現代宗教の可能性～認知宗教学のアプローチ～」（日蓮宗現代宗教研究所編『現代宗教研究』第58号、2024年３月、262-273頁。

[口頭発表]

・「カルト問題への認知宗教学的視点―アージ理論を中心に―」「宗教と社会」学会、愛知学院大学、2023年６月24日。
・「AI 時代の宗教リテラシー」日本宗教学会・第一部会パネル、東京外国語大学、2023年９月９日。
・（講演）「現代に息づく日本と世界の宗教文化」日本農業経営大学校、2023年６月１日。
・（講演）「近年の宗教情勢について」静岡県神社庁、2023年８月24日。
・（講演）「ネット時代のつながりの豊かさと危うさ」、善知識研究会、中央学術研究所、2023年10月28日。
・（講演）「文化的ニッチ論から見る現代宗教の多様性―認知宗教学のアプローチ―」日蓮宗現代宗教研究所、2023年11月27日。
・（講演）「宗教社会学」警察大学校、2023年５月10日、18日、６月21日、８月18日、９月27日、11月７日、

12月14日、2024年１月22日、２月１日。

[その他]

・（シンポジウム司会）「RIRC開設25周年記念ミニシンポジウム『正確な宗教ニュースとは～AI時代を見据えて～』」佼成図書館、2023年12月２日。
・（ウェブ会議議長）「宗教について、家族や友人と話すことありますか？」「イー・ウーマン　ダイバーシティ円卓会議」、2023年11月10日～17日。
・（YouTube出演）「ベトナムで初めての宗教白書が公刊～カオダイ教とは～『宗教ニュースを読み解く』No.20」2023年４月25日。
・（YouTube出演）「新日本宗教団体連合会 結成70周年記念事業総括式典～新宗連の組織と活動～『宗教ニュースを読み解く』No.21」2023年５月２日。
・（YouTube出演）「東寺真言宗の大本山石山寺で初の女性座主が就任～座主にも新しい風～『宗教ニュースを読み解く』No.22」2023年５月26日。
・（YouTube出演）「尼崎えびす神社で男性カップルの神前結婚式～LGBTと日本の宗教界～『宗教ニュースを読み解く』No.23」2023年７月６日。
・（YouTube出演）「児童虐待の防止を目指す「スノードロップ」の設立～信仰継承問題と「宗教２世」問題～『宗教ニュースを読み解く』No.24」2023年８月21日。
・（YouTube出演）「新しい「領解文」に本願寺派総局が初の答弁～浄土真宗と蓮如～『宗教ニュースを読み解く』No.25」2023年８月25日。
・（YouTube出演）「イラン各地でアシュラの行事～シーア派イランの復古面と先進面～『宗教ニュースを読み解く』No.26」2023年９月７日。
・（YouTube出演）「真如苑が25年目のハワイ灯籠流し～ハワイの日本宗教～『宗教ニュースを読み解く』No.27」2023年９月15日。
・（YouTube出演）「サッカー女子W杯で初のヒジャブ着用選手～イスラム世界の女性の装い～『宗教ニュースを読み解く』No.28」2023年10月５日。
・（YouTube出演）「セントラル九州マスジドが15周年記念で一般公開～日本のモスクと地域社会～『宗教ニュースを読み解く』No.29」2023年11月29日。
・（YouTube出演）「池田大作名誉会長死去と５期目に入った原田稔第６代会長～創価学会の組織の変遷～『宗教ニュースを読み解く』No.30」2024年１月24日。
・（YouTube出演）「（RIRC25周年特集編）RIRC開設25周年記念ミニシンポジウム（第１回）国内宗教ニュースをめぐって―その１―」2024年２月22日。
・（YouTube出演）「（RIRC25周年特集編）RIRC開設25周年記念ミニシンポジウム（第２回）国内宗教ニュースをめぐって―その２―」2024年２月28日。
・（YouTube出演）「（RIRC25周年特集編）RIRC開設25周年記念ミニシンポジウム（第４回）国外宗教ニュースをめぐって―その２―」2024年３月27日。

櫻井義秀　客員教授　宗教社会学、東アジア宗教文化論、ウェルビーイング研究

[単行本]

・『信仰か　マインド・コントロールか－カルト論の構図』（文庫版）法藏館、2023年５月
・（共編）櫻井義秀・猪瀬優理『創価学会－政治宗教の成長と隘路』法藏館、2023年４月
・（共著）櫻井義秀、上田絵理・木村純一・佐藤直弘・柿﨑真実子『大学のハラスメント相談室 ― ハラスメントと向き合うすべての人へ』北海道大学出版会、2023年３月
・『明解　統一教会問題－宗教に無関心の人も宗教者も知らなかった事実』興山舎、2024年２月

[論文]

・（依頼論文）「日本を『カルト天国』にしないために」『中央公論』５、2023年５月、132-139頁。

・（依頼論文）「統一教会－宗教リテラシーと歴史認識の貧困がもたらしたもの」『世界』、2023年８月、105-109頁。
・「統一教会問題の解決とは何か－『解散命令』請求の限界」『世界』12、2023年12月、81-86頁。
・（依頼論文）「現代日本の政教関係－尾崎論文へのコメント　特集　法をめぐるミスコミュニケーション６－１」『法律時報』96-１、2024年１月、89-95頁。

［口頭発表］

・（共同発表）櫻井義秀、清水香基「セカンドライフに関する意識調査－調査の視点と方法」北海道社会学会大会、於札幌学院大学、2023年６月17日。
・“Religions And Politics In Japan: After The Murder Of Former Prime Minister Shinzo Abe And The Unification Church's Issue,” International Society for the Sociology of Religion 37th Conference at Academia Sinica in Taipei, 2023.7.5
・“New Developments in the Relationship between Politics and Religion in Japan,” 5th Annual Meeting of East Asian Society for the Scientific Study of Religion, Online Meeting（Hokkaido University）, 2023.7.12

［その他］

・［緊急特別編 現代日本の宗教最前線７］「キリスト教信者が増えぬ日本でなぜ新宗教が教勢拡大できたか」『月刊住職』2023年25巻4月号、44-51頁。
・［現代日本の宗教最前線119］「統一教会解散問題で解る日本人の宗教性」『月刊住職』2023年25巻５月号、144-147頁。
・［現代日本の宗教最前線120］「住職にも問われる宗教リテラシーの有無」『月刊住職』2023年25巻６月号、144-147頁。
・［現代日本の宗教最前線121］「いまここだけを生きて信行道場成満」『月刊住職』2023年25巻7月号、142-145頁。
・［現代日本の宗教最前線122］「自由と自我を委ねた道場で何が起きたか」『月刊住職』2023年25巻８月号、138-141頁。
・［現代日本の宗教最前線123］「車椅子の入場者と共に学んだこと」『月刊住職』2023年25巻9月号、134-137頁。
・［現代日本の宗教最前線124］「中高年になってから読経を習得する難行」『月刊住職』2023年25巻10月号、118-121頁。
・［現代日本の宗教最前線125］「AIにはまった社会における宗教者の役割」『月刊住職』2023年25巻11月号、130-133頁。
・［現代日本の宗教最前線126］「宗教法人解散がもたらす正と負の事態を宗教者はいかに問うべきか」『月刊住職』2023年25巻12月号、42-48頁。
・「宗教リテラシーの難しさ　宗教者自身も問われる認識」『中外日報』2023年９月27日
・「信教の自由－統一教会の被害者救済法案との関連で」『住民と自治』718：38-39.
・「鼎談　今、宗教法人に突きつけられている問題を考える－「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」をめぐって」『全仏』657：３-13.
・「統一教会と自民党－ジェンダー不平等からみる」『女性展望』５-６月号、14-15頁。
・「宗教二世　何が問題か」『教職研修』2023年12月号、82-83頁。
・“Japan is not putting the Unification Church out of business,” Nikkei Asia, 2023.11.14. https://asia.nikkei.com/Opinion/Japan-is-not-putting-the-Unification-Church-out-of-business
・“Political alliance of Japan's LDP and Komeito could begin to crack：Future of religious-based party in question after death of founder Daisaku Ikeda,” Nikkei Asia, 2023.12.15. https://asia.nikkei.com/Opinion/Political-alliance-of-Japan-s-LDP-and-Komeito-could-begin-to-crack

・［現代日本の宗教最前線127］「信教の自由と宗教批判の自由にある諸刃」『月刊住職』2024年26巻1月号、128-131頁。
・［現代日本の宗教最前線128］「宗教を信ずる心と芸術を尊ぶ心は同じか」『月刊住職』2024年26巻2月号、130-134頁。
・［現代日本の宗教最前線129］「自らの死と人の看取りとをいかにするか」『月刊住職』2024年26巻３月号、128-131頁。
・「宗教界もビジョン2100を　挑戦する宗教者の出現期待」 櫻井義秀氏『中外日報』2024年１月24日

ナカイ・ケイト（NAKAI, Kate W） 客員教授　日本思想史

林淳　客員教授　日本宗教史

ノルマン・ヘィヴンズ（HAVENS, Norman）客員教授　日本宗教史、日本の民間信仰

山中弘　客員教授　宗教社会学

天田顕徳　共同研究員　宗教社会学・民俗学

井関大介　共同研究員　日本宗教史、宗教思想史

一戸渉　共同研究員　日本近世文学・学芸史

今井功一　共同研究員　歴史民俗資料学、教派神道研究、富士信仰研究

［論文］

・「柄澤照覚の神誠館と高島暦――易・暦書出版と宗教の接点――」『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』第16号、2023年９月、51-63頁。

［口頭発表］

・「実行教の社会事業」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学、2023年９月10日。

今井信治　共同研究員　宗教社会学

・（コラム）「なぜジャニーズを“信仰”する人たちが生まれたか」『GALAC』NPO放送批評懇談会、2024年３月、19-21頁。

荻原稔　共同研究員　教派神道

［論文］

・「井上正鐵『唯一問答書書継』について」『神道宗教』第273号、2024年１月、１-22頁。
・「戦後の禊教における高浜伝白川家行法の受容と展開」『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』第16号、2023年９月、64-74頁。
・（木村悠之介氏と共著）「大成教禊教『禊教会雑誌』解題・目次補遺」『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』第16号、2023年９月、75-83頁。

［口頭発表］

・「神崎一作の『神道』とは」国際日本文化研究センター共同研究「日文研所蔵井上哲次郎関係書簡の研究－国民国家の始発と終焉」2023年度第３回共同研究会、オンライン開催、2023年11月18日。

・「初期井上正鐵門中の文書」第77回神道宗教学会学術大会、オンライン開催、2023年12月３日。

［その他］

・（発表要旨）「『唯一問答書書継』について」『神道宗教』272号、2023年10月、151-153頁。

・（研修講師）「せっかくだから面白い人生を生きようではないか―応用行動分析と構造化を生かした暮らし方とその余白―」放課後デイサービスシエル茶話会、於シエル中町教室（町田市）、2023年６月27日。

・（研修講師）「防災－親にできること・子どもにできること」東京都立羽村特別支援学校PTA防災講習会、於羽村特別支援学校、2023年９月14日。

・（研修講師）「戦没者遺骨収集とカザフスタンのこと」kukutanaお話会、於café kukutana（羽村市）、2023年12月８日。

・（研修講師）「BCP（事業継続計画）はFCP（家庭継続計画）に支えられている」放課後デイサービスシエル職員研修、於シエル本部（日野市）、2024年２月８日。

小田真裕　共同研究員　日本近世史

［単行本］

・（分担執筆）第Ⅲ部「暦とその文化」のうち資料No.165「陰陽町家職書上帳」（下書）、資料No.166「南在檀中毎年御祈禱覚帳」、２「「暦掛り記録」と暦造りの一年」、資料No.178「明和五年南都暦」、資料No.179「明和七年南都暦」、３「陰陽師でいるために」、資料No.182「年卦序書記」、資料No.183「土御門家作法必伝」、資料No.184「安家大元水アケ之玉垣之伝」国立歴史民俗博物館編『陰陽師とは何者か―うらない、まじない、こよみをつくる―』小さ子社、2023年10月、202,210-211,213-214,216-217,218-219頁。

・コラム「日本近世史を社会に活かすには」、「生活と文化―今と自分を見つめ直したいあなたに」、上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美編『日本近世史入門　ようこそ研究の世界へ！』勉誠社、2024年３月、32-36,337-354頁。

［論文］

・「地方暦師・地方陰陽師史料の使い方―吉川家文書から考える―」『国立歴史民俗博物館研究報告』第247号、2024年３月、135-152頁。

［口頭発表］

・「分科会２「博物館と多様な主体」」シンポジウム「博物館法改正元年－つながり、交差する－」（第71回全国博物館大会第２日目）、於千葉市文化センター、2023年11月16日。

・ケーススタディ「博物館の地域貢献を多様な連携から考える①」日本ミュージアム・マネージメント学会コレクション・マネージメント研究部会2023年度第１回研究会、於科学技術館、2023年12月10日。

［その他］

・（分科会報告）「分科会２　博物館と多様な主体―特集 第71回全国博物館大会報告」『博物館研究』第59巻３号、2024年３月、18-19頁。

・（資料紹介）「吉川家文書の幕末維新期弘暦関係史料」『国立歴史民俗博物館研究報告』第247号、2024年３月、369-413頁。

・（調査研究活動報告）「吉川家文書を理解するために」『国立歴史民俗博物館研究報告』第247号、2024年３月、415-421頁。

・（調査研究活動報告）「近世の暦・陰陽道と吉川家（吉川家年表 近世）」『国立歴史民俗博物館研究報告』第247号、2024年３月、423-425頁。

小平美香　共同研究員　日本思想史

［その他］

・（座談会）「特集　試される宗教リテラシー　座談会　宗教者としての幸せとリテラシーを育む子弟教育」

（2023年８月21日、於大正大学）『現代宗教2024』公益財団法人国際宗教研究所、2024年１月、123-167頁。
・（座談会）「社会教育・教化と神道文化―教導職と明治初期の神道と宗教」神道文化会、オンライン開催、2024年３月５日。
・（書評）ニーナ・エドワーズ著／高里ひろ訳「白の服飾史―人はなぜ「白」を着るのか」『神社新報』神社新報社、2024年２月５日、６面。

小高絢子　共同研究員　宗教社会学

[論文]
・弓山達也、青木繁、小高絢子、谷山昌子、道蔦汐里「スピリチュアリティの観点からとらえたいのちの教育―震災伝承施設を教材として―」『いのちの教育』８号、2023年５月、35-47頁。

[口頭発表]
・「現代日本の都市における寺院行事の担い手の変容―地縁･血縁的結合から参詣を軸とする檀信徒へ―」日韓次世代学術フォーラム20周年記念国際学術大会、於東西大学校、2023年６月24日。
・「都市化にともなう寺院空間の変容－堀之内妙法寺を事例として－」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学、2023年９月９日。

ガイタニディス・ヤニス（GAITANIDIS, Ioannis）

共同研究員　日本学・宗教社会学・医療人類学

齋藤公太　共同研究員　日本思想史・宗教史

芹口真結子　共同研究員　日本近世史

塚田穂高　共同研究員　宗教社会学、日本文化論

問芝志保　共同研究員　宗教社会学、日本近現代宗教史

[論文]
・「冠婚葬祭マナー本に描かれた建墓と墓参りの作法」冠婚葬祭総合研究所編刊『論文集（令和４年度）』、2023年５月、26-37頁。
・「大量死と遺骨―関東大震災の火葬はいかに経験されたか」『都市問題（特集：関東大震災100年―復旧・復興の諸相）』第114巻第９号、2023年９月、63-71頁。

[口頭発表]
・「都市の墓制」（テーマセッション「『無縁社会の葬儀と墓』を解剖して再起動する―研究領域「慰霊・葬祭」の縁を新たに紡ぐ試み」）「宗教と社会」学会第31回学術大会、於愛知学院大学、2023年６月25日。
・（講演）「東京が変えた日本の葬送―歴史から見とおす現在と未来―」東京浄青結成50周年記念研修会Vol.3、於増上寺慈雲閣、2023年７月５日。
・「森岡清美と先祖祭祀研究―発展的継承のために」（テーマセッション「森岡清美の宗教社会学を捉え直す」）第96回日本社会学会大会、於立正大学、2023年10月９日。
・「近代都市の墓制150年史と多磨霊園」国立歴史民俗博物館共同研究「高齢多死社会における生前から死後の移行に関する統合的研究」研究会、於メモリアルアートの大野屋多磨店、2024年２月25日。
・「戦後日本における仏壇の大衆化」國學院大學日本文化研究所研究会、オンライン開催、2024年２月28日。

[その他]
・（コラム）「近現代日本における死者の宗教的地位」飯田高・齋藤哲志・瀬川裕英・松原健太郎編『リーガル・ラディカリズム―法の限界を根源から問う』有斐閣、2023年８月、264-268頁。

・（書評）「鵜飼秀徳著『絶滅する「墓」』」『週刊読書人』2023年10月13日号。
・（書評）「酒井朋子・奥田太郎・中村沙絵・福永真弓編著『汚穢のリズム』」『週刊読書人』2024年３月22日号。
・（取材対応・新聞記事掲載）「骨仏が映す供養の未来」『日本経済新聞』2023年８月13日号、12面。
・（テレビ出演）『東海ドまんなか！　お墓は“それぞれ”へ あなたの選択は?』NHK岐阜、2023年12月８日。

丹羽宣子　共同研究員　宗教社会学　ジェンダー論　社会調査論

［口頭発表］

・「井川裕覚『近代日本の仏教と福祉 ―公共性と社会倫理の視点から』をジェンダー視点から読む」第29 回「仏教と近代」研究会、於國學院大學、2023年４月22日。
・「寺院構成員と住職の意識」科学研究費助成事業基盤研究（C）「寺院減少社会における仏教寺院の実態研究―多宗派のブロック調査」研究成果報告会、オンライン開催、2023年６月18日。
・「女性教師の多層性―日蓮宗全女性教師アンケート調査から」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学、2023年９月９月。
・「現代日本仏教への家族社会学的接近に向けて」第96回日本社会学会大会、於立正大学、2023年10月９日。
・（講演）「寺院社会における〈女性活躍〉の可能性」高野山真言宗寺族婦人役員研修会、於高野山東京別院、2023年11月９日。
・「多様性への回帰、多様性の再発見」第24回日蓮宗教化学研究発表大会パネルディスカッション「多様化する現代の宗教」、於日蓮宗宗務院、2023年11月27日。
・「宗教情報の〈精度〉と〈鮮度〉に寄与するために」RIRC開設25周年記念ミニシンポジウム、於佼成図書館視聴覚ホール、2023年12月２日。
・（講演）「家族と葬送の今までとこれから」高野山本山布教師研修会、於太融寺、2024年２月19日。
・「『分断』を超えていくために―〈僧侶らしさ〉と〈女性らしさ〉再考」武蔵野大学仏教文化研究所主催「宗教とジェンダー」シンポジウム、於武蔵野大学、2024年２月24日。

［その他］

・（講演録）「多様性への回帰、多様性の再発見」『現代宗教研究』第58号、273－288頁。
・（コラム）「女性僧侶の誕生と葛藤⑨女性僧侶とジェンダー研究」『仏教タイムス』2023年４月６日。
・（コラム）「女性僧侶の誕生と葛藤⑩多様な僧侶が活躍する仏教界に」『仏教タイムス』2023年４月13日。
・（コラム）「【宗教リテラシー向上委員会】統計が示す日蓮宗女性教師の現状と課題」『キリスト新聞』2023年８月11日。
・「不活動宗教法人をめぐる報道と宗教界の動き」『ラーク便り』第99号、2023年８月31日、40－43頁。
・（コラム）「【宗教リテラシー向上委員会】“寺嫁”たちのレジスタンス」『キリスト新聞』2024年１月11日。
・「【新春鼎談】2023－24回顧と展望“逆風”吹き荒れる中、伝統宗教と専門メディアの行く末は？」『キリスト新聞』2024年１月11日、2024年１月17日。
・（YouTube出演）「RIRC25周年特集編『RIRC開設25周年記念ミニシンポジウム（第１回）～国内宗教ニュースをめぐって―その１―～』」2024年２月22日。
・（インターネットラジオ出演）「てらつなキャスト　エピソード２　女性僧侶とジェンダーよもやま」てらつなポットキャスト、2024年３月22日。

野口生也　共同研究員　宗教人類学、ペンテコスタリズム研究

原田雄斗　共同研究員　日本近代史、日本宗教史

ジャン＝ミシェル・ビュテル（BUTEL, Jean-Michel）　共同研究員　日本民俗学

チャールズ・フレーレ（FREIRE, Carl）

共同研究員　近代の日本史（特に社会史・思想史）

牧野元紀　共同研究員　ベトナム近代カトリック布教史、太平洋海域交流史、アーカイブズ学

三ツ松誠　共同研究員　日本思想史

[単行本]

・（共編著）上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美編『日本近世史入門　ようこそ研究の世界へ！』勉誠社、2024年３月。

・（分担執筆）「幕末維新期の島原藩」島原市教育委員会肥前島原松平文庫編『肥前島原松平文庫所蔵史料目録（２）』島原市教育委員会肥前島原松平文庫、2024年３月、27-31頁。

[論文]

・「激烈組！」『現代思想』（51巻）16号、2023年12月、329-345頁。

・「参沢明年譜稿」大塚英志編『接続する柳田國男』水声社、2023年12月、417-435頁。

・「尾藤正英と「民族の文化について」」田中聡・斎藤英喜・山下久夫・星優也編『〈学知史〉から近現代を問い直す』有志舎、2024年３月、142-163頁。

[口頭発表]

・「コメント」九州歴史科学研究会７月例会、於福岡大学、2023年７月８日。

・「副島種臣と天御中主神」日本宗教学会第82回学術大会、於東京外国語大学府中キャンパス、2023年９月９日。

・（講演）「子年の大風とシーボルト事件」令和５年度佐賀大学・小城市交流事業特別展「江戸時代の災害と小城」、於小城市立歴史資料館、2023年11月25日。

・「民衆宗教史の範囲を問い直す」第96回民衆思想研究会、於一橋大学国立キャンパス、2023年12月９日。

・「文明開化と神道教導職―西川須賀雄の講義から―」2023年度日本経済思想史学会第４回例会、於慶應義塾大学三田キャンパス、2024年３月16日。

[その他]

・（コラム）「柴田花守と佐賀の国学」『小城春雨まつり60年の歩み　端歌「春雨」探訪～小城藩士・柴田花守とその時代～』佐賀新聞社、2023年４月、92-93頁。

・「貴重書紹介　伝柴田花守筆「楠公像」」『ひかり野　佐賀大学附属図書館報』20号、2023年７月、裏表紙。

・（書評）三ツ松誠「書評と紹介 谷口眞子著『葉隠〈武士道〉の史的研究』」『日本歴史』903号、2023年８月、97-99頁。

・「コメント」『九州歴史科学』51号、2023年12月、128-135頁。

宮澤安紀　共同研究員　宗教社会学

[論文]

・「日本におけるオンラインメモリアルサイトの可能性について」『一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団冠婚葬祭総合研究所論文集』令和4年度、2023年５月、88-95頁。

[口頭発表]

・「遺骨と暮らすこと――遺骨の物質性と手元供養」日本宗教学会第82回学術大会（パネル「死者と暮らす―物質的宗教論からみる仏壇・家庭祭壇・手元供養―」）、於東京外国語大学、2023年９月９日。

[その他]

・（書評）高橋原・堀江宗正「死者の力――津波被災地「霊的体験」の死生学」『宗教と社会』29号、2023年６月、202-205頁。

・（書評）山田慎也・土居浩編「無縁社会の葬儀と墓――死者との過去・現在・未来」『宗教研究』97巻２

号、2023年９月、326-332頁。
・（エッセイ）「多民族国家マレーシアのムスリム墓地」『葬送文化』25号、日本葬送文化学会、2024年３月、30-37頁。

村上晶　共同研究員　宗教社会学

[論文]

・“Rethinking Lived Religion in Contemporary Japanese Shamanism,” *Religious Studies in Japan* 7, 2024.3, pp.43-61.

[口頭発表]

・「仏壇を仏壇たらしめるもの」日本宗教学会第82回学術大会（パネル「死者と暮らす―物質的宗教論からみる仏壇・家庭祭壇・手元供養―」）、於東京外国語大学、2023年９月９日。
・「宗教研究におけるlivedとvernacular―二つの視点の比較から―」日本民俗学会第928回談話会、於國學院大學、2023年11月19日。
・（講演）「現代社会の供養実践―現代人が供養に求めるもの―」曹洞宗関東管区教化センター令和５年度布教協議会、於東京グランドホテル檀信徒会館、2023年11月20日。
・“Why Study Religion? Young JARS members' perspectives,” JARS Young Members Roundtable Session, IAHR Special Conference, 於東京大学、2023年12月17日。

[その他]

・（調査報告）「「祈禱寺院」による永代供養墓経営について―津軽地方における寺院実地調査報告―」『仏教経済研究』52号、2023年５月、55-65頁。

矢崎早枝子　共同研究員　宗教学

[論文]

・「A Workshop on Food Consciousness and Traditional Japanese Culinary Practice Increases Awareness of Sensory Food Properties, Mindful Eating, and Food Waste Reduction Actions」共著A. Garcia、M. Breheny『Proceedings』(91巻) １号、2024年２月、282頁。

[口頭発表]

・「Forming knowledge of the Other: Modern Japanese encounter with Islam」British Association for Islamic Studies Conference、Aga Khan University、London、2023年５月15日。
・「Shinto meets Judaism and Islam in imperial Japan: The role of schools in knowledge formation」European Association for Japanese Studies Conference、Ghent、2023年８月20日。
・（ポスター発表）「A workshop on Food Consciousness and Traditional Japanese Culinary Practice increases awareness of sensory food properties, mindful eating, and food waste reduction actions」共著A. Garcia、M. Breheny、European Nutrition Conference FENS, Belgrade、2023年11月14－17日。
・「To discipline or to forget: The idea of the self and ethical conduct in Sufism and Zen through the writings of al-Ghazali and Dogen」Enlightenment, Wisdom, and Transformation in the World's Religious Traditions、Otani University、2023年12月17日。
・「いま、イギリスでイスラームを教える―グラスゴー大学の事例」、於國學院大学、2024年２月16日。

[その他]

・（セミナー共催）「Religion, Challenge and Change」セミナーシリーズ、University of Glasgow、2023年４月19日、2023年12月６日、2024年２月８日。

ラーション・エーニルス（LARSSON, Ernils） 共同研究員　宗教史、宗教と法律

[論文]

・“The Two Constitutions.” In Jolyon B. Thomas & Matthew D. McMullen (ed.). The New Nanzan Guide to Japanese Religions. University of Hawai' i Press, 2024, pp. 349-363.

・“The Naha Confucius Temple Lawsuit and Religion-Making in Japan' s Courts of Law.” Critical Research on Religion 12: 1 (2024), pp. 26-41. doi/10.1177/20503032241226968.

・“Public Shrine Ritual or Private Religion? Yasukuni Shrine and the Precarious Secularism of Modern Japan.” Holzer, Shannon (ed.). The Palgrave Handbook of Religion and State Volume II: Global Perspectives. Palgrave Macmillan, 2023, pp. 283-306.

[口頭発表]

・“Understanding ‘Religion’ as a Legal Concept: Disputes and Disagreements in Japan' s Courts of Law.” Guest lecture as part of the Summer Lectures in Japanese Religion at Kyushu University, Japan, 19 July 2024.

・“Imagining the Confucian ‘Other’: Chinese heritage and identity in Okinawa in a time of Sino-Japanese resentment.” AAS-in-Asia Annual Conference, 9-11 July 2024, Yogyakarta, Indonesia.

・“Religious freedom in pluralist Japan: The SDF Enshrinement case and the balancing of rights of religious communities.” Asian Religions in Law and Litigation, 31 May-1 June 2024, Pittsburgh, Pennsylvania, US.

・“The Association of Shinto Shrines and the ‘Shinto Right’ in Postwar Japan.” The Nordic Association for the Study of Contemporary Japanese Society (NAJS), 23-24 May 2024, Aarhus, Denmark.

・“From Secular Institution to Religious Organization: Shrine Shinto in Postwar Japan.” Guest lecture for the Higher Seminar in Religious Studies at the Faculty of Culture and Society, Malmö University, Sweden, 21 May 2024.

[その他]

・（レビュー）宗教右派とフェミニズム. 山口智美 & 斎藤正美. 青弓社, 2023. Japanese Religions 45 (2024).

・（レビュー）Spirituality and Alternativity in Contemporary Japan: Beyond Religion? Ioannis Gaitanidis. Bloomsbury Academic, 2022. Nova Religio 27: 4 (2024), pp. 129-131.